

# 兵庫県のに漁場環境情報 (東播海域 臨時 号)

2026年4月13日発行

兵庫のに研究所

小型珪藻のレプトシリンドラスは確認されますが、発生量は前回(4/9)よりもさらに減少しており、海域全般に珪藻類の発生量は少ない状況です。4/9~4/10にかけ、30ミリ程度(明石市)の降雨があったことから、窒素は陸水の影響が強く見られる海域地先で4~8  $\mu\text{g-at/L}$ 台、その他の海域で1~3  $\mu\text{g-at/L}$ 台の値と西部海域の沖筋でやや上昇しています。

(水温) 漁場内平均12.9℃ (平年比0.1℃、昨年比0.4℃ともに高い)。(塩分) 平均32.53psu。前回(32.74)より0.21psu低い。

**(珪藻、栄養塩)**

レプトシリンドラス発生量は10~20細胞/mlであった。

海域地先(八木鋼管漁場~別府)では、陸水の影響が強く見られ、アンモニア態窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	12.2	12.9	12.8	12.5
窒素	4.2	4.8	3.5	3.5
リン	0.33	0.37	0.29	0.33

(4/9)

(4/17)

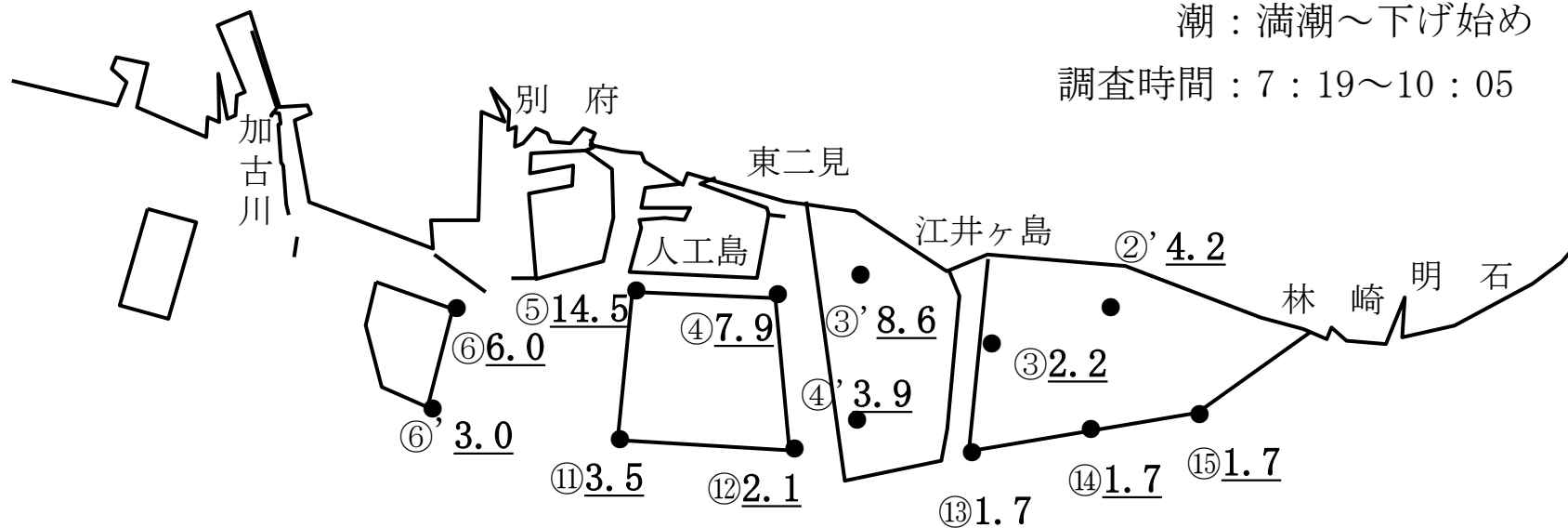
※窒素の平均は別府を除く。

2026年4月13日調査

**栄養塩 (窒素) 図**

潮：満潮~下げ始め

調査時間：7:19~10:05



**水温図**

